

全 体	履 修 数 5803	回 答 率 88.7%
	回答者数 5149	

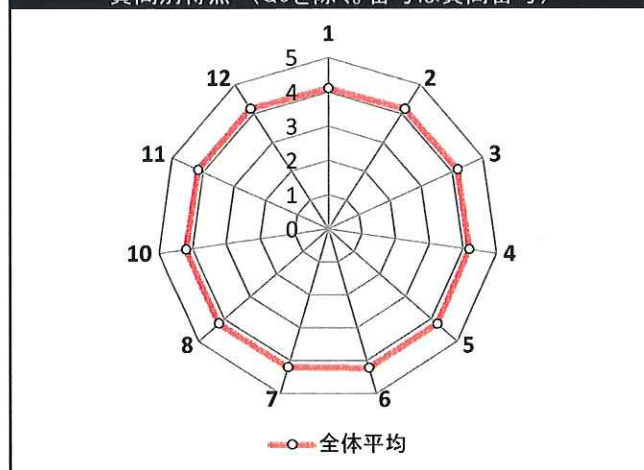
質問番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	全体平均	
1	シラバスの内容は、授業を受けたり予習・復習をするために役に立っていますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2142, 1693, 1120, 951]						4.10	
2	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に沿って実施されていますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2249, 1707, 1045, 64]						4.16	
3	各回の授業内容の分量は適切ですか。	[Stacked bar chart showing counts: 2397, 1631, 865, 14]						4.18	
4	授業内容は、難解な内容も丁寧に説明されていますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2472, 1566, 832, 156]						4.19	
5	授業に対する教員の熱意や工夫が感じられますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2554, 1540, 822, 123]						4.23	
6	教員の言葉は全体として明瞭で聞き取りやすいですか。	[Stacked bar chart showing counts: 2553, 1558, 771, 143]						4.22	
7	教員は学生へ質問したり、学生の意見を聞いたりしていますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2499, 1539, 866, 133]						4.20	
8	教員は学生の受講態度をきちんと把握し、注意していますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2468, 1574, 893, 94]						4.20	
9	あなたは、この授業の予習・復習に、平均して1週間にどのくらいの時間を費やしていますか。 A)3時間以上 B)2時間～3時間 C)1時間～2時間 D)30分～1時間未満 E)全く費やしていない	205	926	1569	2141	[Stacked bar chart showing counts: 205, 926, 1569, 2141]			1.97
10	受け身ではなく、積極的に授業に参加していますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2415, 1604, 943, 84]						4.20	
11	この授業で関連する分野に興味を持てそうですか。	[Stacked bar chart showing counts: 2435, 1484, 977, 141]						4.16	
12	現時点で総合的にこの授業に満足していますか。	[Stacked bar chart showing counts: 2469, 1487, 924, 128]						4.17	

グラフ内数字は回答数

■Q12(総合満足度)との相関

質問番号	項目	相関係数
Q1	シラバスの有用性	0.679
Q2	授業内容とシラバスの整合	0.713
Q3	授業内容の分量	0.774
Q4	授業内容の難易度	0.799
Q5	教員の熱意・工夫	0.795
Q6	教員の言葉の明瞭性	0.781
Q7	学生への質問と意見傾聴	0.767
Q8	受講態度に対する注意	0.742
Q9	予習復習時間	0.169
Q10	学生自身の積極性	0.775
Q11	関連分野への興味	0.877

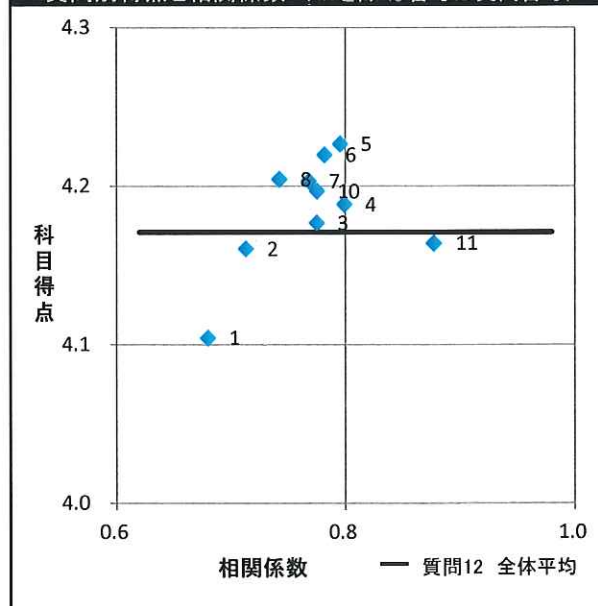
質問別得点 (Q9を除く。番号は質問番号)



凡例	A	B	C	D	E	不明
選択肢 質問文下に記載 のない場合	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	-
配点	5	4	3	2	1	-

相関係数は±1に近いほど関係が強く、0に近いほど弱いことを意味します。プラスは正の相関関係、マイナスは負の相関関係です。総合評価であるQ12はどの項目と関係が深いのか、授業の何を改善すればよいのかの参考値として下さい。相関係数の「-」は計算不能を示します。(例: 回答者全員が同じ回答、回答データが1件のみなど)

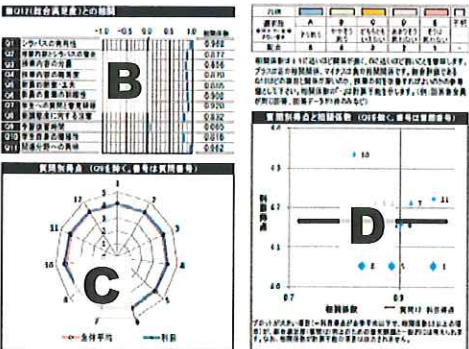
質問別得点と相関係数 (Q9を除く。番号は質問番号)



科目別集計表のみかた

宝塚医療大学 授業評価アンケート科目別集計 2019年度後期

項目	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q12	科目得点	全体平均
1 シラバスの内容が、授業を授けたり学習・修習をするために役に立っていますか。	7	6	6	0	0	4.05	4.08	
2 授業内容は、少くば中での主題や目的に沿って展開されていますか。	8	6	5	0	0	4.16	4.10	
3 各回の授業内容の分量は適切ですか。	10	3	6	0	0	4.21	4.13	
4 授業内容は、難解な内容も丁寧に説明されていますか。	8	6	5	0	0	4.21	4.14	
5 授業に対する教員の熱意や工夫が感じられますか。	8	6	5	0	0	4.05	4.15	
6 教員の態度がまじめで明確で聞き取りやすいですか。	8	6	5	0	0	4.16	4.15	
7 教員が学生へ質問したり、学生の意見を聞いてくださいますか。	8	6	5	0	0	4.21	4.13	
8 教員は学生の理解度などをよく把握し、注意をくださいますか。	8	6	5	0	0	4.05	4.11	
9 教員は、この授業が卒業・修業に不可欠な知識・技能を習得させることに努めていますか。	8	6	5	0	0	4.16	4.11	
10 習い先ではなく、積極的に授業に参加していますか。	10	3	6	0	0	4.23	4.17	
11 この授業で関連する分野の興味が増えましたか。	8	6	5	0	0	4.21	4.13	
12 現時点で総合的にこの授業に満足していますか。	8	6	5	0	0	4.11	4.12	



B

Q12(総合満足度)との相関

項目	相関係数
Q1 シラバスの有用性	0.962
Q2 授業内容とシラバスの整合	0.877
Q3 授業内容の分量	0.856
Q4 授業内容の難易度	0.870
Q5 教員の熱意・工夫	0.885

この科目における、総合満足度を問う質問12とそれ以外の質問との相関係数（※1）を数値とグラフで表示しています。相関係数が0.5以上あればかなり高い相関関係があると考えられます。総合満足度の評価を上げるためには相関係数が高い項目の評価を上げることが大切です。

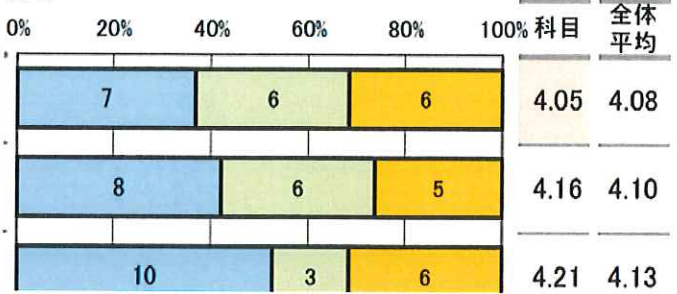
※1 相関係数：相関係数は-1から+1までの値を取り、±1に近いほど関係が強く、0に近いほど弱いことを意味します。プラスは正の相関関係、マイナスは負の相関関係です。正の相関は一方のデータが上昇(増加)すると他方のデータも上昇(増加)し、負の相関は一方のデータが上昇(増加)すると他方のデータが下降(減少)する関係をいいます。また、相関係数はデータ数が少ないケースなどでは違和感のある結果となる可能性があるため、データの実数も考慮し、回答の分布・平均値と併せて総合的な判断が必要です。

【D：質問別得点と相関係数】

右図Dは縦軸に科目得点、横軸に相関係数をとり、各項目をプロットしています。一般的には、当該授業の総合評価（= Q12の得点）を上げるためには得点が相対的に低く、且つ相関関係が強い質問項目から優先的に授業改善に取り組むことが重要です。散布図では当該科目の得点が全体平均より低く、且つ相関係数が0.5以上の項目につき、授業改善の優先課題としてプロットを大きく表示しています。相関係数や得点はデータの個数（アンケート回答数）が少ないと誤差が大きくなるため、個々の授業の内容を考慮した上で授業改善課題発見の参考資料として位置づけてください。

A

※科目得点<全体平均の場合にアミがけ



質問1～質問12の選択肢別回答数と回答割合をグラフ表示しています。グラフ内の数字は回答数です。科目得点は当該科目の得点、その右は全体の平均です。

得点は各選択肢に以下の数値を与えて合計を回答数で割った値です。（無回答は計算から除外）

Aそう思う=5、Bややそう思う=4、Cどちらともいえない=3、Dあまりそう思わない=2、Eそうは思わない=1

<計算例> 上図1段目の場合

Aの回答数=7、Bの回答数=6、Cの回答数=6、Dの回答数=0、Eの回答数=0、合計回答数=19
 $(5 \times 7 + 4 \times 6 + 3 \times 6 + 2 \times 0 + 1 \times 0) \div 19 = 4.0526 \dots$
 (小数点3位以下を四捨五入して表示)

得点が高いほど良い評価です。また、得点が高いでも回答の分布が異なる場合もあります。全体平均との比較も参考に、改善課題発見の参考としてください。

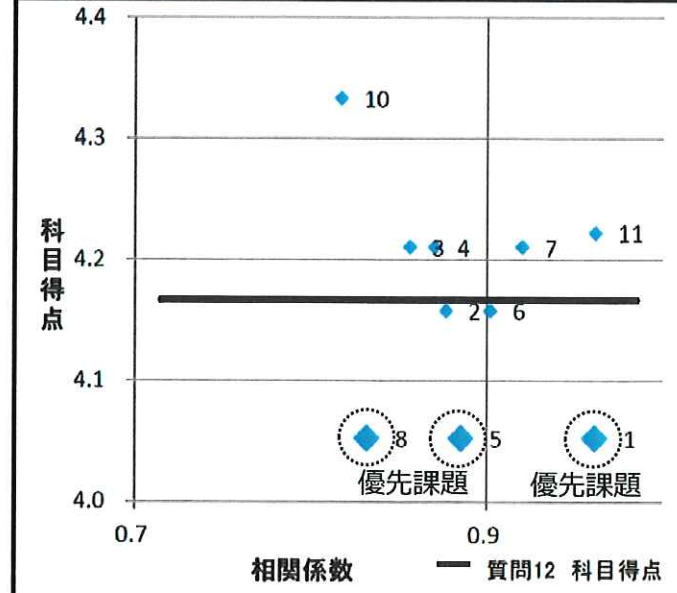
なお、全体との差、項目毎の高低は質問別得点レーダーチャート（下図C）を併せてご参照ください。

C



D

質問別得点と相関係数（Q9を除く。番号は質問番号）



プロットが大きい項目（=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、総合満足度（質問12）向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。